ジェイン・グレイ遺文

神西清

青空文庫

チュドル王朝第三代エドワアド六世の御宇のこと、イングランドのほぼ中央リスタアの町に程遠からぬ、ブラッドゲイト城の前庭を、のちのエリザベス女王の御教育掛、碩学ロウジャ・アスカムが横ぎつて行く。季節は卯薔薇の花乱れ咲く春、それも極くのどかな午さがりと思ひたい。霧の深い秋のことではなかつたらう。アスカムの齢は三十六か七か、それにしては悠々たる足どり。やがて城を登る。が、小肥りの躯をつつむ寛い黒衣の影を石階の日溜りに落したまま、暫しは黙然と耳を澄ます。遥かチャアンウッドの森を伝つて来る笛の音こそ、城の主、のちのサフォオク公ヘンリイ・グレイが、奥方はじめ一統を引き連れての、徒然の狩遊びと見えた。四つの櫓のそそり立つ方形の城の中は、森閑として物音もない。絵のやうに霞むリスタアの風物のさなか、春の日ざしに眠つてゐる。

「長閑なことよ。御一統には狩遊びと見ゆる」

と、出会ふた侍女にアスカムは声を和らげて問ふ。侍女は上眼づかひに「御館に残らるるは上の姫様だけ」と答へる。「ジェイン様か、それは。」碩学の肉づきのいい額を、かすかに若皺が寄る。身を飜して、日も射さねば仄暗い拱廊をやや急ぎ足に渡つて行く。黒い影が、奥まつた急な階段をものの二丈ほど音もなく舞ひ昇つて、やがて上の姫の居間の閾に立つた。丈の高い樫の椅子が、厳つい背をこちらへ向けて、掛けた人の姿はその蔭にかくれて見えぬ。雪のやうな裳すそのみゆたかに床に這ふ。

「姫！」と呼んだ。

届かぬ沓の爪先をやつと床に降して、ジェインは振り向く。二つに分けた亜麻色の垂髪は、今年わづかに肩先を越えたばかり、それを揺つて澄みかへつた瞳を、師と呼べば呼べる人の面に挙げた。

「まあ、アスカム様。」

読みさしの書を傍の小卓のうへに押しやつて、数へ年十五の姫は立つた。アスカムはその手を止めて、手ざはりの粗い頁のうへ、刷りの黄ばんだ希臘文字に、すばやく眸を走らせる。

「フェエドンを読まれてか？」

と、ややあつて訊く。姫は巴旦杏のやうに肉づいた丸い唇を、物言ひたげに綻ばせたが、思ひ返したのかそのままに無言で点頭いた。アスカムは窓に満ちる春霞の空へと眼を転ずる。揚げ雲雀の鋭い声が二つ三つ続けざまに、霞を縦に貫いて昇天する。やがて彼が優しく問ひかけた。

「あの雲雀のやうに春の日を遠慮なしに浴びるのはお厭か。なぜに父御と一緒に狩に興ぜられぬ？」

ジェインは微笑んだ。智に澄んだ瞳のやや冷やかな光がその漾に消える。

「園の遊びごとは」と彼女が言ふ、「プラトンの書に見る楽しみにくらべて物の数には入りませぬ。まことの幸の棲処もえ知らぬ、世の人心のうたてさ。」……

古への物語はやはり古風な話し振りをせねばならぬので骨が折れる。が兎に角、一五五一年、時の碩学ロウジャ・アスカムがブラッドゲイトの城にジェイン・グレイを訪ねて、その叡才に舌を捲いた折の情景は、僕未だ彼自らの手に成る記録を読む機会を得ず、他人の抜書きしたのを一見したのに過ぎぬが、先づこの様なものだつたらうと想像する。なほジェインの話は続いて、その読書の道に入つた動機を滔々と述べ立ててゐるのだが、長くなるから割愛することにして、以下少しばかり智の権化のやうなこの少女の上を振りかへつて見たい。

『倫敦塔』のなかで漱石の言つた通り、「英国の歴史を読んだもので彼女の名を知らぬ者はあるまいし、又其の薄命と無残の最後に同情の涙を濺がぬ者はない」に違ひない。

しかし、ここに遺憾なことは、人々の興味がヘンリイ八世の小姪に当る高貴なその生れとか、数奇を極めた十七年の生涯とか、その美貌とかの方へ牽かれがちなため、彼女の魂の美しさを物語る遺文がともすれば、好事家の賞玩にのみ委ねられてゐることではあるまいか。尤も彼女の遺文は主として哲学乃至は宗教の論議に渉るものであり、且つその一部が羅典語で記されてゐることなどが、ながく一般の注意の彼方に逸し去つた原因であるかも知れぬ。それにせよ、ジェイン・グレイの遺文に満ち溢れるばかりの博識と信念、深情と智性とが、不滅の文学的モニュマンを築き上げてゐることに変りはない。

伝へに依れば、彼女は羅典、希臘をはじめ、ヘブライ、カルデヤ、アラビヤ、仏蘭西、伊太利と、都合七つの外国語に通暁してゐたことになつてゐる。これは少し割引きして見ることにしても、その他音楽にも針仕事にも堪能だつたと言はれる彼女の博学と文藻、それから女性らしい優雅さは疑ふことは出来ないのだ。その遺文として今日確証されてゐるものは次の八種である。

（一）チュリッヒの牧師ハインリヒ・ブリンゲルに宛てたる書簡三通（ともに羅典語）
（二）旧教に改宗せる友（恐らくサフォオク公附の牧師ハアヂング博士ならん）を責めたる書簡
（三）処刑に先立つ四日、ウェストミンスタアの僧院長にしてメリイ女王附牧師たりしフェッケンハムと試みたる信教問答
（四）処刑に先立つ数日間に綴れる祈祷文
（五）処刑に先立つ数週、塔中より父サフォオク公に宛てたる書簡
（六）処刑の前夜、最後の思出として希臘文新約聖書の巻尾に記して妹カザリンに与へたる訓戒
（七）処刑台上にて述べたる談話
（八）祈祷書に挟める犢皮に記したる覚書（大英博物館所蔵）

試みにこのうちの（六）を、掻いつまんで訳してみよう。――

「愛しい妹カザリンよ、あなたにこの本を贈ります。この本の外側には黄金の飾もなく巧みな刺繍の綾もありませんが、中身はこの広い世界が誇りとするあらゆる金鉱にも増して貴いものです。これは主の掟の書、主が私共哀れな罪人にと遺された聖約また遺言なのです。これによれば私共は永遠のよろこびへと導かれませう。もしこの本を心籠めて読みこの掟を守らうと心掛けるなら、あなたに不滅の生の齎されることは疑ひありません。この本はあなたに生き方を、そして死に方を教へて呉れませう。（中略）

それから私の死のことを申せば、愛しい妹よ、どうぞ私と同じやうによろこんで下さい。私は穢れを捨てて清浄を着るのですから。

（そして相当の長さに亘つて信教に関する力強い訓戒が語られ、最後は次の様に結んである）では、もう一度左様なら、愛しい妹よ、そして何卒あなたを救ふ唯一者、神にあなたの唯一つの信仰を置くやうに。

アーメン。」

これを書き写しながら図らずも思ひ浮ぶのは、モンテエニュがその『随筆』のなかに引用した「哲学を学ぶは死することを学ぶに外ならぬ」といふシセロの言葉である。モンテエニュは実に「死ぬことを学ぶ」ことに苦心した人であつた。「余が自らに就いて最も気掛りになつて

ゐるのは、余が美しく、即ち気長に騒がずに、悠揚として死にたいと云ふことだ」と言つてゐる。そしてジェイン・グレイは全くこの境に到達してはゐないだらうか。例へば前に挙げた手紙などは、処刑前夜の十七歳の一少女の手記としては余りに冷静なのに人々は驚くであらう。しかもそれは魂の冷やかさから来る感じでは決してないのだ。最も純粋な道徳の状態と言ふものは斯かる姿をしてゐるのではないか。また最も高揚された情緒と言ふものは斯ういふ境地なのではあるまいか。

その翌日、一五五四年二月十二日は来た。己れの意に反してイングランドの王位に在ること僅か九日、その次の日には早くも死を宣せられた幽囚の女王としてボアシャン塔に送られ、この日まで数へれば七ヶ月は流れてゐる。刑場に於ける彼女の気高い態度、そして従容たる死に就いては、スタエル夫人も麗筆を振ひ、また手近かな所では漱石の所謂「仄筆」も振はれてゐる。だが事実は詩人の空想よりもつと残酷であつた。

はじめメリイ女王の考へでは、ジェインとその夫ギルフォオド・ダッドレイを一緒にして、塔の広場で処刑することにしてあつた。が結局余りに強烈な印象を生むのを怖れて、ギルフォオドのは広場で、ジェインのは塔の構内でと、別々に行はれることに変更された。先づギルフォオドが曳かれて行つた。彼が妻の獄窓の下を通りかかつた時、二人は七ヶ月振りの、そして最後の眸を無言のまま見交すことが出来た。

やがて彼の処刑が終るや否や、直ちにジェインは呼び出された。彼女には動じた気配はいささかも見えなかつた。祈祷書を手に、物静かに牽かれて行く様子は、恰も愛人の許へ伴はれる花嫁に似てゐたと言はれる。が、この時運命は彼女のために、もつとも残酷な試練を用意してゐたのであつた。彼女は刑場に充てられた「塔の芝生」へ入らうとして、思ひがけず、丁度広場から礼拝堂へ運び入れられる夫の血まみれの屍に行き会はなければならなかつた。彼女は夫を見た。祈祷書を握りしめ、彼女の眼は涙の影をさへ見せなかつた。却つて傍にあつた侍女エリザベス・チルニイやヘレンの咽び泣く声が、無気味な静寂をいたづらにかき乱した。……

青空文庫情報

底本：「日本幻想文学集成19　神西清」国書刊行会
　　1993（平成5）年5月20日初版第1刷発行
底本の親本：「神西清全集」文治堂
　　1961（昭和36）年発行
初出：「セルパン」
　　1932（昭和7）年11月発行
※ルビは新仮名とする底本の扱いにそって、ルビの拗音、促音は小書きしました。
※底本は、物を数える際や地名などに用いる「ヶ」（区点番号5-86）を、大振りにつくっています。
入力：門田裕志
校正：川山隆、小林繁雄、Juki
2008年1月4日作成
青空文庫作成ファイル：
このファイルは、インターネットの図書館、青空文庫（http://www.aozora.gr.jp/）で作られました。入力、校正、制作にあたったのは、ボランティアの皆さんです。

ジェイン・グレイ遺文

神西清

2026年10月1日　第二版

奥　付

発行　　青空文庫

URL　http://www.aozora.gr.jp/
E-Mail　info@aozora.gr.jp

作成　　青空ヘルパー　　赤鬼@BFSU
URL　https://aohelp.club/
BiliBili　https://space.bilibili.com/10060483

Special Thanks
　青空文庫　威沙

青空文庫を全デバイスで楽しめる青空ヘルパー http://aohelp.club/
※この本の作成には文庫本作成ツール『威沙』を使用しています。
http://tokimi.sylphid.jp/